

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2018-07-01

No. 99



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61800-3 Ed.3.0 (2017-02) 速度調整可能電力駆動システム: Part 3 EMC 要求3	
IEC: 新規格リスト	9
ISO: 新規格リスト	10
UNECE: 国際テーマ: EU: UN 規制 No. 0 - 国際全車両型式承認 (IWVTA) 統一規定公表.....	11
UNECE: 国際テーマ: UN 規制 No. 139 (BAS)、及び No. 140 (ESC) 装着義務化	12
国際テーマ: IT 機器のドイツ GS 認証に関する騒音放射要求事項	13
国際テーマ: 不明確なロシアの試験サンプル要求事項	13
国際テーマ: オーストラリア及びニュージーランドの電気製品に関する規制情報	13
国際テーマ: 中国の無線周波数割り当ての更新	14
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14
USA: FCC: KDB: スキャニング受信機の機器認可要求事項は?	15
USA: FCC: ハイバンドスペクトラム最前線の 5G での利用に向け前進: 24 GHz 37 GHz 帯等	16
USA: CPSC: 玩具の適齢性の決定のためのガイドライン案: コメント募集期間延長	16
USA: MET: 電気製品を世界各国に出荷するお客様に: 製品安全評価のアドバイス	17
USA: FDA: 認知規格リスト及び認知リスト番号: 049 発表	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	19
USA: IEEE: 新規格リスト	20
カナダ: 官報通知 SLPB-005-18 - 5G をサポートするためのミリ波電波の解放	21
カナダ: 官報通知 SLPB-004-18 - 3500 MHz 帯域及び 3800 MHz 帯域の改訂協議等	21
EU: チュートリアル: EU 単一市場出荷時の製造会社の責任(4/8)	23
EU: 無線機器指令の適用について現在提起されている疑問: MRA ワークショップより(2/3)	24
EU: 無線機器指令ガイド新版(2018/6/5)発行、従来版 (2017/5/19) を置き換え	27
EU: 欧州官報にて低電圧指令 2014/35/EU の整合規格リスト公表	28
EU: 規制 (EU) 2018/858 発行: 車両型式承認要件を補完するための市場監視規定導入	29
EU: 欧州委員会は、安全で清潔で接続されたモビリティのための議題を完了	30
EU: 溶接装置および工作機械のエコデザインに関する公共の協議	31
EU: CENELEC: 新規格リスト	32
EU: ETSI: 新規格リスト	33
中国: CQC: 強制性製品認証管理の対象とならない製品に関する認証書の処理 等	34
中国: CQC: 家庭用および類似用途の電気機器の強制性製品認証実施細則の改訂	34
中国: CQC: 照明器具等の安全および電磁適合性認証規則	35
中国: CQC: 配電盤製品の強制性認証への新版規格の実施の要求に関する公告	35
中国: 新規格リスト	36
台湾: 電気ボットの許容消費電力省エネルギー基準およびエネルギー効率区分等	37
台湾: 新規格リスト	38
韓国: 高出力及び漏洩電磁波の安全性の評価基準及び方法等に関する告示の一部改正 (案)	38
韓国: 電気通信事業用無線設備の技術基準の一部改正 (案) 行政予告	39
韓国: 電力量計の技術基準の一部改正 (案) 行政予告	39
韓国: 非欧州諸国で初めてユーレカ(共同研究開発)パートナー国に昇格	40
総務省: 平成 29 年度無線設備試買テスト結果: 測定機種数 140 のうち不適合機種数 126	41
総務省: 第 5 世代移動通信システム (5G) の技術的条件委員会報告 (案) への意見募集	41
総務省: 電波防護指針の在り方に関する検討作業班: 局所吸収指針の改定案概要	42
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈: 整合規格の採用 電気洗濯機等	42
経済産業省: HP にて、電気用品のモバイルバッテリーに関する FAQ が掲載	43
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) が日本産業規格 (JIS) に 名称変更	43
経済産業省: 「平成 29 年度エネルギーに関する年次報告 (エネルギー白書)」閣議決定	44
ちょっといっぽく〜小クイズコーナー スキャニング受信機に関する米国 FCC の認可手順	14
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内	22
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: IEC 61800-3 Ed.3.0 (2017-02) 速度調整可能電力駆動システム: Part 3 EMC 要求

- IEC 61800-3 Ed.3.0 速度調整可能 電力駆動システム PDS - パート 3: EMC 要求事項及び具体的な試験方法が、2017-02 付で発行されている。
- 本第 3 版は、2004 年に出版された第 2 版及び修正 1: 2011 を取り消し、置き換える。本版は技術的改訂である。本版には、前の版に対し以下の重要な技術的変更が含まれる。
 - a) 特に、多数の代替試験方法が存在する場合の試験報告書の要求事項の明確化。
 - b) 放射エミッション測定のためのより詳細な試験セットアップの導入、及び、小型機器への 3m 測定距離の導入。
 - c) 情報的附属書における一般的な更新。

USA: FCC: KDB: スキャニング受信機の機器認可要求事項は？

- 米国連邦通信委員会（FCC）において、スキャニング受信機に関してよくある質問とその回答 6 件をまとめた。

EU: 無線機器指令の適用について現在提起されている疑問: MRA ワークショップより(2/3)

- MRA ワークショップ Japan が 2018 年 3 月 14 日開催された。
- 演題「無線機器指令 RED の適用について現在提起されている疑問について」（ヤンクンラーツ氏 RED-CA）からその内容を三回に分けお届けする。
- RED 規定による欧州委員会への委任法行為、及び実施法行為、及び予測されている RED 実施法行為 等が解説されている。

EU: 無線機器指令ガイド新版(2018/6/5)発行、従来版（2017/5/19）を置き換え

- 今回の新版（2018 年 6 月 5 日）は、従来版（2017 年 5 月 19 日）に比し、総ページ数が 49 ページから 56 ページに増ページ。「1.6.3.10 車両内の無線機器」の見出し名変更、内容充実 等の変更

EU: 欧州官報にて低電圧指令 2014/35/EU の整合規格リスト公表

- 2018 年 6 月 15 日付けの OJ にて公示された低電圧指令の整合規格リストでは、新規に追加された規格はなかった。
- EN 62368-1:2014 に関して、置き換えられる規格が「EN60950-1:2006+ A11:2009+ A12:2011+ A1:2010+ A2:2013」と「EN 60065:2014」となっていて、DoC が 2020.12.20 となっていることから、これらの規格は最も遅くて 2020 年 12 月 20 日迄に EN 62368-1:2014 と置き換えられることになる。

総務省: 電波防護指針の在り方に関する検討作業班: 局所吸収指針の改定案概要

- 情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会 電波防護指針の在り方に関する検討作業班（第 10 回）配付資料 局所吸収指針の改定案概要が提案されている

経済産業省: 日本工業規格（JIS）が日本産業規格（JIS）に 名称変更

- 工業標準化法が一部改正された: 標準化の対象にデータ、サービスを追加し、法律名を“産業標準化法”に改め、“日本工業規格（JIS）”が“日本産業規格（JIS）”に変わる

社長の独り言

平成 30 年 6 月 25 日

濱口 慶一

皆様には、先日の大阪北部地震で、被害にお遭いになられなかったことを祈念し、この原稿を書いています。残念なことに、この地震により数名の方がお亡くなりになりました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

その中でも通学路のブロック塀の転倒で幼い小学生が犠牲になったことについて、製品安全の業界に居る私にはいろいろと気になることがあります。

- 1、通学路としての指定時に、色々なリスクを想定して児童に危険が及ばないと判断された道だったのか？
- 2、事故が生じると、関連の法規の探り合いが生じて色々な問題が出てくる。
- 3、マスコミはいち早く、ブロック塀の建築基準法違反だとか、その安全性を確認した方が建築士の資格を要していなかったと確認者の責任を問うような報道をしている。一つの組織で行動する場合、上司の指示で動くものであり、その指示に従った人物が要求される資格要件を満たしていないので、その業務は出来ませんと断れる状況で無かったのではないのか？

一連の問題点を洗う中で沢山の疑念が出てくるのではないかと考えています。

次のような規制も 1 つの考え方としてありうるのではないかと思います。

- 国の法律で建築法があり、その法律で管理される物件に関しては、まず法律に従って監督省庁に建築許可申請をさせる。
- 建築許可申請書には、法律で要求される強度などの必要要件に関して ISO17025 で認可を受けた評価機関が発行した審査評価結果を添付させる。
- 建設途中の作業報告書も必要書類とする。鉄筋の太さや位置など、後日申請書の添付資料に基づいて再構築した時に全く同じ構造体が出来る再現性のあるものとする。

その上で、通学路に関しては、地震や天候、車からの危害や、犯罪者からの保護も必要なリスク分析項目だと思います。今回、ブロック塀が建設された時点と、通学路が決められた時点とどちらが先なのかは不明ですが、見識者の関与や、専門家のガイドとしたチェックリストなどの作成が全く無いように思えます。

また、どこからも苦情や心配事として申し出が無かったという関係者のコメントがいち早く出されましたが、それも、先の原発事故の「想定外」というコメントと似ているように感じるのは私だけでしょうか？

私は 4 人の子供に恵まれました。育てた子供たちがそれぞれの家庭を持ち、子供が生まれて大きくなりました。今回亡くなられた子と同じ位の年齢の孫も居る私には到底他人事では済まされない思いです。機会あるごとに今まで沢山の製品を見せて頂いた経験から、これはと思う危険をここに書いていきたいと思っています。

どうか読者の皆さんは、設計開発において製品に使われる規格への対応だけでなく、リスク分析を徹底して行っていただきたいと思っています。許容されるレベルの危険性まで低減するということは、取扱説明書への記述でよい、というのではなく、出来る限り設計で危険性を低減することを製品安全の基本哲学として確立して頂きたいと強く願います。

趣味の日本蜜蜂の養蜂ですが、各県で少し管理方法が違ってきます。私の住む三重県は、畜産課への届け出が必要になりました。趣味だから無届けでも良いと言うのは間違いで、重箱式なら届け出不要、巢枠式なら届け出必要と、住んでいる都道府県で判断が異なるようですのでご注意ください。梅雨入りのこの季節は、開花している花が非常に少なくなります。雨で蜜は集めにくいし、花は少ないとなると、蜜蜂群間での盗蜜行為がたまに生じ、大挙して弱い群の蜜を盗みに来ることになり、最後は取られた方が消滅等の危機になることもあります。趣味とはいえ、油断できない季節になってきました。毎朝夕の観察が一段と大切な時期と言えます。

大阪の地震の余震も無く、関西地区の方が平穏無事な生活に早く戻れることと、皆様の安全をお祈り致します。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2018-07-01 (No. 99)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2018 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。